



本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>

SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

<第1回 SSH 講演会を開催しました(#2)>

2年BCD組に引き続いて、2年A組の生徒を対象に「プレゼンテーションスキル」に関わる内容の講演を行いました。

【実施概要】

日時:平成30年11月2日(金)6校時
場所:2年A組
対象:普通科特進コース(2年A組)
講師:肥田 宗友 氏
(秋田県立大館鳳鳴高等学校 教諭)

【講演の様子】

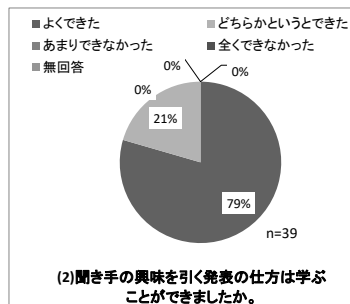
事前の宿題とされていた自分の研究グループのポスター案の作成資料をベースに講義が展開されました。研究者が行う“論文の査読システム”を参考に、個人で作成してきたポスターをグループのメンバーとチェックしあいました。特に、他人の作ったポスターの「改善点」を指摘したり、改善の方法を提案するなどのコミュニケーションの経験はほとんどなかったようで刺激的な時間となりました。

また、タイトルや図表・絵の重要性、原稿を読まない等の発表態度に至るまで幅広い内容を学ぶことができました。



【アンケート結果】

自由記述を含むアンケート結果から、ほぼすべての生徒が講演内容を理解し、次のポスター制作へ向けた準備が整った印象を受けました。肥田先生本人の面白さにひかれた生徒も多くおり、モチベーションの増大に一役買った様子も見受けられました。12月の生徒発表大会が楽しみです。



<第1回 SSH 講演会を開催しました(#3)>

最後の第1回 SSH 講演会は、生物資源科・緑地環境科を対象に行われました。内容は「プレゼンテーションスキル」に関わるものです。

【実施概要】

日時:平成30年11月5日(月)5校時
場所:大講堂
対象:生物資源科・緑地環境科(2年NR組)
講師:大沼 克彦 氏
(秋田県立大曲農業高等学校 教諭)

【講演の様子】

農業クラブなどで見られる“活動発表”と“研究発表”の違いに焦点を当てた講演となりました。実際に両者のポスターを見比べて、「図の多さ」「写真の多さ」等の違いから、研究発表に重点を置いたポスター作りにおいて配慮する点について教えていただきました。また、ポスター作りのコツとして「背景」「目的」「方法」「結果」「考察」の各項目について箇条書き程度でよいので“まず書いてみる”ことの重要性も示されました。

講演の冒頭には、今回の発表の機会・経験を授業の一環として終わらせるのではなく、就職活動等、長い高校生活に生かしてほしいとのことでした。



【アンケート結果】

ほぼ全員が、聞き手の興味を引くポスターの作り方を学ぶことができたとしており、「プロジェクト発表」と「研究発表」の違いが分かりやすかったとの記述も見られました。講演終了後も質問に来る生徒もあり、充実の講演会となりました。後は実践あるのみ!

